

# 議会だより

2017年 8 月 北海道中川郡豊頃町議会発行  
議会運営委員会編集



広報とよころ

議会だより

6月定例会「補正予算の主なもの」  
役場だより

## 6月定例会

第2回定例会は、6月12日から開催され、宮口町政4期目初の定例会であることから、平成29年度町政執行方針・教育行政執行方針の説明後、補正予算をはじめ、副町長の選任、教育長の任命など31議案を、いずれも原案どおり可決し、19日に一般質問等を行って閉会しました。



会計名	補正額	総額
一般会計(第1号)	2億7千421万円	44億8千593万円
国民健康保険特別会計(第1号)	1千828万円	6億7千103万円
後期高齢者医療特別会計(第1号)	10万円	5千820万円
医療施設特別会計(第1号)	943万円	1億3千380万円
簡易水道特別会計(第1号)	405万円	2億2千540万円
公共下水道特別会計(第1号)	134万円	3億4千893万円

### 補正予算の主なもの

◆大津小学校教職員住宅  
建替え事業  
4千79万円  
教職員住宅2棟2戸を建替え

◆クライミングウォール  
設置工事 1千605万円  
総合体育館トレーニング室にスポーツクライミング用の壁を設置

◆食器・食缶洗浄機購入  
1千600万円  
給食センターで使用している食器・食缶洗浄機を更新

◆スクールバス購入  
904万円  
背負・牛首別線スクールバス(定員29名)を更新

◆防災倉庫整備工事  
2千万円  
総合体育館裏手に防災資機材を保管する倉庫を整備

◆家畜排せつ物利活用実証調査事業 600万円  
家畜ふん尿処理の問題解決に向けてバイオマス事業に必要な基礎資料を収集

◆町道維持補修工事  
2千300万円  
礼作別第1号幹線など町道の維持補修工事

◆詐欺抑止装置資材購入  
354万円  
電話着信時に録音中との音声を流す等により詐欺被害を防ぐ機器を購入

表示の金額は、一万円未満を四捨五入しています。



## 【条例の改正】

▼豊頃町乳幼児等医療費給付条例の一部改正

子育て支援策として、医療費無料化の対象者を「満15歳（中学校就学終了）」までであったところを「満18歳（高校就学終了）」までに拡大するとともに、本町に住所がある者に扶養されている子が、やむを得ず高校通学のために町外に住民票を移し下宿している高校生等も対象者とする内容。平成29年8月1日から適用。

▼豊頃町立保育所条例の一部改正

子ども・子育て支援法施行令の改正及び北海道の保育料軽減支援事業の創設に伴い、複数の子どもを扶養する世帯及びひとり親世帯の保育料の軽減措置を拡充する内容。平成29年4月1日から適用。

▼豊頃町立へき地保育所条例の一部改正

町の子育て支援策として、へき地保育所の保育料を月額「7千800円」から「5千円」とする内容。平成29年4月1日から適用。

## 【人事案件】

▼豊頃町副町長の選任

6月19日に任期満了となる石田貢氏の後任に、菅原裕一氏（茂岩末広町）を選任したいとの提案があり、無記名投票により採決した結果、全会一致でこれに同意しました。

なお、任期は平成33年6月19日までの4年間です。

▼豊頃町教育委員会教育長の任命

副町長に選任される菅原裕一氏の後任に、山本芳博氏（茂岩末広町）を任命したいとの提案があり、無記名投票により採決した結果、全会一致でこれに同意しました。

なお、任期は前任者の残任期間である平成29年6月20日から平成30年3月31日までです。

▼豊頃町農業委員会委員の任命

農業委員会等に関する法律の改正に伴い、委員の選出方法が町長の任命制に改正され、また、7月19日に全委員が任期満了となることから、14名を任命したいとの提案があり、これに同意しました。なお、任期は平成32年7月19日までの3年間です。

任命に同意した者は次のとおり。

泉信之氏（礼作別）、遠藤秀徳氏（二宮）、根本篤和氏（二宮）、村上浩保氏（北栄）、松崎文一氏（牛首別）、嘉藤勝広氏（礼作別）、熊野信夫氏（牛首別）、加島富浩氏（豊頃）、井下睦男氏（長節）、竹下昌徳氏（幌岡）、宝田幸子氏（十弗）、門茂子氏（背負）、荻野滋雄氏（十弗）、友重誠一氏（茂岩栄町）

## 【その他の議案】

▼辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

現行の計画に事業を追加するため変更。

▼十勝環境複合事務組合規約の変更

▼十勝環境複合事務組合の解散に伴う財産処分

▼十勝圏複合事務組合規約の変更

十勝圏複合事務組合を平成30年3月31日をもって解散し、組合が行っているし尿処理、ごみ処理等の事業や所有財産は十勝圏複合事務組合に継承する。

## 主な審議内容

### 条例改正

○**六崎富岡議員** 乳幼児等医療費給付条例の改正により、対象者数や医療費の推移の見込みは。

○**A** 対象者は、今年度76人と想定しており、今後あまり変わらず推移すると考えている。医療費は、対象者が病院にかかることによって変わるため見込むことは難しい。

### 補正予算

○**六谷友則議員** 町有建物解体撤去工事について、解体する建物は。

○**A** 寄付により取得した大津地区等の建物である。

○**小笠原威人議員** 記者会見用バックボードの製作目的・デザイン・概要は。

○**A** 記者会見、感謝状の贈呈等の際の背景とするため製作する。デザインは、町の名物等が小さく描かれたものを想定しているが今後製作会社と協議のうえ決定する。大きさは幅3メートル、高

さ2・3メートル程度で、移動可能なものを考えている。

**Q 大崎英樹議員** 地域おこし協力隊の概要は。

**A** 国の規定に基づき、3大都市圏等の都市地域から、町の嘱託職員として1名の採用を考えている。任用期間は1年で、最長3年間まで更新できる。

**Q 坂回尚示議員** 詐欺抑止装置資材とは。

**A** 電話に設置し、着信時に電話が録音されているとのメッセージが流れ、詐欺を行おうとする者への抑止となると言われているもの。



詐欺抑止装置資材

**Q 坂回尚示議員** 家畜排せつ物利活用実証調査事業の概要は。

**A** 家畜ふん尿処理の課題を解決するための基礎調査である。酪農家への家畜ふん尿処理の現状、バイオガスプラントを導

入する場合の事業参加の意思などの調査を行うとともに、ふん尿の効率的処理、エネルギーの再利用も考慮し、酪農家戸数、ふん尿の排出量から、プラントの施設規模、建設場所、売電するとなれば送電線など、いろいろな角度から調査していきたい。

バイオガスプラントとは、家畜ふん尿などを微生物により分解し、バイオガスを発生させるとともに、液肥を生産する施設。バイオガスは、発電機やボイラーの燃料とすることで、電気や温水を作る再生可能エネルギーとなり、液肥は良質な肥料となると言われている。

**Q 坂回尚示議員** 酪農家への調査により、事業参加数が多ければ進めるということか。

**A** 今回の調査事業により収集したデータを使って、町、農協、関係機関が協議していくこととなる。

**Q 小笠原茂人議員** 実証調査の委託先は。

**A** 指名競争入札となるが、一

般のコンサルタント会社の指名を想定している。

**Q 大崎英樹議員** 防災倉庫整備工事にあたり、総合体育館正面側の道路は、現在冬期間の除雪がされていないが、迅速な災害対応のため行う考えは。

**A** 急こう配で危険なため、冬期間は除雪を行わず通行止めとしている。防災倉庫を整備した後も、同様の形で進めていきたい。



総合体育館正面側の道路

**Q 大谷友則議員** クライミングウォール設置工事にあたり、利用促進・普及の考えは。

**A** 今年度は、子ども・大人・指導者といった利用者層ごとの講習会の開催を考えている。また、利用頻度や利用者の状況を調査しながら普及に努めたい。

**Q 大谷友則議員** ある程度の専門知識が必要かと思うが職員が講習を受ける考えは。

**A** 安全に利用していただくため、素人が指導することは危険で、専門家による講習会を行うとともに職員も勉強しながら事故のないよう努めていきたい。

**Q 大崎英樹議員** 事故があった場合の責任や保険は。

**A** 体育館の利用者と同じで、町主催の行事を除き、個人負担となる。

**Q 大崎英樹議員** 設置工事の施工内容と指名業者数は。

**A** 主な施工内容は、壁面の補強、クライミングウォール専用壁の貼付け、ホールドと呼ばれる突起物の固定工事である。指名業者は4社以上の予定である。

**Q 小笠原茂人議員** 設置工事の財源であるスポーツ振興くじ助成金とは。

**A** いわゆるサッカーくじの売り上げの一部をスポーツ振興のために助成するもので、クライミングウォール整備も助成対象となる。

広報とよこら

議会だより

▼主な審議内容

役場だより





# 一般質問



大谷 友則 議員

## 人口減少対策は

Q まち・ひと・しごと創生総合戦略では、2060年の人口目標を2千人としているがその見通しは。

A 宮口町長

40年以上先のため見通すことは難しいが、農業、漁業はある程度生産力が高まれば人口減少は収まると期待している。ただ商業は、厳しい環境にあり、商店街の活性化は課題となっている。人口減少に歯止めをかける施策を社会情勢に応じて取り組んでいきたい。

広報とよころ

▽一般質問  
議会だより

役場だより

Q 雇用の創出対策は。

A 宮口町長

町の購買力の向上や企業誘致に向けて努力している。情報収集しながら働く場の確保に努力し、町を守っていきたい。



茂岩市街の商店街

Q 人口減少により行政区の運営が困難になると思われるが対策は。

A 宮口町長

一部の行政区では、すでに葬儀等行事の運営に苦慮しており、必要に応じて職員も手伝っている。行政区の意向をくみながら運営支援を行いたい。



岩井 明 議員

## 新入学時の就学援助は

Q 今年度の要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費のうち新入学児童生徒用品費等の支給はいつ行ったか。また、来年度以降の予定は。

A 宮口町長

今年度は5月30日に支給した。来年度からは、国の制度改正により、小学校新入学児童の保護者に対して、いわゆる入学準備金を適切な時期に支給できるよう配慮されたことから、3月中に支給できると考えている。

Q 入学祝金について、支給額引上げや中学校入学時の支給の考えは。

A 宮口町長

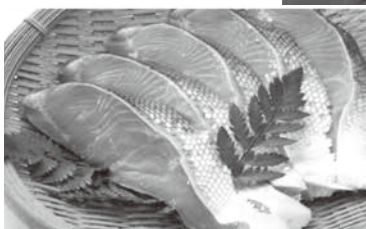
子育て支援策として、入学祝金のほかに出産祝金、健全育成支援金、保育所通所支援金、高等学校等就学助成金、小中学校等修学旅行費交付金などバランスの取れた総合的支援を行っていると考えている。これからも現制度を継続していきたいと考えている。

## ふるさと納税の推進は

Q 国は、今年4月にふるさと納税の返礼品について、寄付額の3割を上限とするよう求める通知をしたとのことだが、町の考えは。

A 宮口町長

国からの通知により、町は返礼品の目安を寄付額の4割から3割に変更した。返礼品は地域を応援する寄付金に対するお礼であるとともに、町の特産品のPRに寄与していることから継続して推進していく必要があると考えている。



ふるさと納税の返礼品



大崎 英樹 議員

町政4期目の政策は

Q 基幹産業の強化への施策は。  
A 宮口町長

基幹産業のうち農業では、豊頃町農協が国の事業を活用して小麦貯蔵施設等を整備、町単独事業として明暗渠排水事業、家畜排せつ物の処理の問題に関する調査を行う。漁業では、漁港整備が進められており、完成後には安心して操業できるものと思っている。

Q 家畜排せつ物処理の問題について、町全体の対策をどのように考えているか。また、国の補助制度を利用する考えは。  
A 宮口町長

行政単独でできる問題ではないことから、町、農協、関係機関と相談しながら、肉牛、養豚を含めた家畜全体の排せつ物を将来家畜バイオマスの資源となるような形に努力していきたい。国の制度利用の前に、まずは調査を行い、農協や畜産業と協議しながら、処理方法の検討を行っていききたいと考えている。

Q 地域資源をいかした観光施策は。特に、湧洞沼にはトイレもななく整備を進める考えはないか。  
A 宮口町長

町内の観光資源の整備、PRに努めたい。湧洞沼にはかつてトイレ等も整備されていたが、管理が十分できず閉鎖した経緯があり、現段階では大津海岸と長節湖に集約して整備したいと考えている。

Q 町の認知度を高めるため進めているプロモーション事業の状況は。  
A 石田副町長

町総合プロモーション協議会により進めているプロモーション事業は、人材育成、地域産業活性化、移住定住促進、結婚対策等事業を実施している。具体的には、「豊頃男子」という名で地域の若者を対象とするセミナーの開催、首都圏での物産イベント出展や地場産品を使った食事会の開催、本町での移住体験モニターツアーのほか、町の広告宣伝動画を作成し、東京の大型ビジョンでの放映等を実施してきた。今後町に有益なものとなるよう期待している。

Q 移住定住促進のための環境整備施策は。

A 宮口町長

茂岩栄町等の公営住宅、豊頃南町の民間賃貸住宅建設、茂岩末広町の宅地分譲とそれぞれ補助制度も拡充し推進している。

Q 民間賃貸住宅建設事業をさらに進める考えは。  
A 宮口町長

町では、賃貸住宅の建設に対する補助金、また、入居者に対する家賃助成、町外通勤者への助成を行っている。これらがなければこの事業は進まないと考えている。しかし、財政的には半永久的に続けられるわけではなく、定住促進対策との板挟みで頭が痛い、希望があれば積極的にこり進めていきたいと考えている。



豊頃南町の民間賃貸住宅

Q 福祉行政の充実を図るための具体的なサービスは。  
A 宮口町長

ひだまり交流館は幅広い年代の方が利用し、好評のようである。また、子育て支援では、保育料の一部無料化、子どもの医療費無料化を高校生まで拡大する等の施策を行っている。

Q 茂岩山の特別養護老人ホームとその周辺の今後の利活用の考えは。  
A 宮口町長

特別養護老人ホームは、これまで旧茂岩小学校グラウンドにある施設と合体する方向で検討してきたが、昨年の災害を受けて、万が一堤防が決壊した場合を想定すると、高台での施設も考える必要が出てきた。町の防災計画の中でも検討しながら施設の移設問題を考えていきたい。







小笠原茂人 議員

### 低所得の高齢者への 町独自での給付金の支給は

Q 昨年度、国からの補助金により、低所得の高齢者向けの給付金が支給されたが、今後、町独自の給付金事業を実施する考えは。

A 宮口町長

町独自に実施する場合、「低所得者」の基準を定めることが難しい。例えば、税法上の所得で判断する場合、収入が年金のみで、不動産を所有する高齢者は支給対象となるなど実態とそぐわないケースが生じると考えている。また、所得等を調査する人的負担、財政的な面からも難しいと考えている。

なお、高齢者福祉施策として、敬老祝金の支給、福祉灯油券や福祉タクシー券の交付など町独自の施策を行っている。

Q 給付金事業により町内の消費拡大につながるのではないかと。

また、町広報紙の財政事情の資料から、基金残高は多く、給付事業に支出してはとの声もあるが。

A 宮口町長

基金は、現在ある程度は保有しているが、今後、学校の建替え、消防署の建替え、特別養護老人ホームの改修・建替えが見込まれ、これらの事業だけでも4、50億円が必要になると思われる。将来のため、少しでも基金を残して次の世代に引き継いでいきたい。

### バイオガスプラント事業の 構想と実現性は

Q バイオガスプラント事業の推進をどのように考えているか。

A 宮口町長

本町の酪農経営は、年々飼養頭数が増加し、家畜排せつ物の処理、管理が畜産農家の負担となっている。規模拡大と省力化を目的に、飼養形態が変化し、フリーストール牛舎が増えており、家畜排せつ物の適切な処理、管理を町・農協・畜産農家一体で対



家畜排せつ物の処理対策は

応しなければならぬ。

このような状況の中で、町・農協・畜産農家などの関係機関と協議会を立ち上げ、「家畜排せつ物活用実証調査」を行い検討していきたい。

Q 酪農家の関心は高い。事業の積極的推進の考えは。

A 宮口町長

調査により専門的な解析、運営形態、施設規模などの情報を集め、他町の事例も勉強し、農協と協議しながら進めていきたい。

### 第3回臨時議会（5月9日）

#### ▼専決処分の承認

・平成28年度一般会計補正予算（第13号）

国からの交付金等の額の確定に伴い、基金への積立て等の経費として、9千229万円を歳入歳出に追加し、予算総額を55億8千440万円とする補正予算を専決。原案のとおり承認。

専決処分とは、議会を開くいとまがないときなど、議会にかわって町長が処分（決定）すること。

#### ▼豊頃町税条例の一部改正

国の税制改正に伴い、個人町民税の所得割の非課税基準の算出方法の改正、固定資産税の軽減対象の追加、軽自動車税のグリーン化特例の延長等する内容。原案のとおり可決。

#### ▼豊頃町過疎地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正

過疎地域自立促進特別措置法の改正に伴い、固定資産税の課税の特例対象事業から情報通信技術利用事業を除外し、農林水産物等販

売業を追加する内容。原案のとおり可決。

▼豊頃町国民健康保険税条例の一部改正  
国の税制改正に伴い、国民健康保険税の軽減判定基準を改正。原案のとおり可決。

▼町道の認定  
3月定例会において提案され、4月21日、産業厚生常任委員会において現地調査のうえ審査し、可決すべきものと報告。原案のとおり可決。

▼町道の変更  
認定した町道は、豊頃佐々田町の町道豊頃公園線との交点から線路をまたぐ歩道橋を通り豊頃駅前までの町道豊頃駅連絡線と、豊頃南町の民間アパートの中を通る町道南団地通り支線。  
変更した町道は、中央新町の町道南中央2条通で、新たに整備するため通行距離を延長する。

**第4回臨時会（7月12日）**

▼平成29年度一般会計補正予算（第2号）  
内水対策排水ポンプ設備の購入など、4千860万円を追加し、

予算総額を45億3千454万円とする補正。原案のとおり可決。

▼物品の取得  
学校給食センターの食器・食缶洗浄機1台を購入。金額は1千534万円。納入期限は平成29年8月25日。原案のとおり可決。

**意見書**

- ① 地方財政の充実・強化を求める意見書
- ② 平成29年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- ③ 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、教職員の超勤解消と「30人以下学級」の実現、「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障にむけた意見書

総務文教常任委員会及び産業厚生常任委員会にて審議した意見書案が各常任委員会の委員長である中村純也議員及び相澤昌幸議員から提案説明され、原案どおり可決し、関係省庁・機関に提出されました。  
(①・③は総務文教常任委員会、②は産業厚生常任委員会にて審議)

**北海道町村議会議長会  
自治功労者表彰**

6月13日開催された北海道町村議会議長会第68回定期総会において、大崎英樹議員が自治功労者表彰を受賞しました。



受賞した大崎英樹議員(左)

大崎英樹議員は、町議会議員として平成3年から15年以上にわたり地方自治の振興発展に寄与貢献されたことから贈られたもので、6月19日、第2回定例会2日目の冒頭、藤田博規議長から表彰状が伝達されました。

**全道町村議会議長会主催  
議員研修会参加**

7月4日、札幌コンベンションセンターにおいて、全道町村議会議長会主催議員研修会が開催され、全議員が出席しました。

研修会では、慶応義塾大学教授の金子勝氏が「トランプ政権と日本経済―地域経済への影響は？」、日本放送協会解説副委員長の島田敏男氏が「日本政治の昨日・今日・明日」と題して講演が行われました。



道町村議会議長会議員研修会の様子

会場は、全道から1千500人を超える議会議員が出席し、時折メモを取りながら講演に耳を傾けました。

広報とよこる

議会だより

役場だより

## 相馬市議会行政視察

7月12日、本町の姉妹都市である福島県相馬市議会総務常任委員会（根岸利宗委員長）が防災対策に関する行政視察のため来町しました。

委員のほか防災担当の職員など9名が来町し、昨年の大雨災害時の本町の対応や、ハザードマップの整備状況について、本町職員から説明を受けた後、意見交換を行いました。

行政視察後は、昼食をとりながら懇談し、姉妹都市の交流を深めました。



相馬市議会総務常任委員会  
行政視察の様子

## 菅谷議員が議員辞職

菅谷誠議員から、一身上の都合により議員を辞職したいとの辞職願が提出されました。6月2日、議長がこれを許可し、同日付けで辞職されました。

菅谷誠議員の辞職に伴い、欠員となつた議会運営委員に坂口尚示議員を、産業厚生常任委員に大谷友則議員を6月2日付けで議長がそれぞれ指名し、6月7日開催の議会運営委員会において、坂口尚示議員が議会運営委員会副委員長に互選されました。

### 会議の詳細は会議録で

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録されています。

ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議会事務局へお問い合わせください。

また、議会だよりの感想もお待ちしております。

TEL 015-574-2222

FAX 015-574-3955

(議会事務局直通)

# 議会日誌

- |   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| <p>〔5月〕</p> <p>9日 第3回臨時会<br/>議員全員協議会</p> <p>18日 十勝環境複合事務組合等議会臨時会<br/>～帯広市</p> <p>19日 元議会議員会総会</p> | <p>〔6月〕</p> <p>2日 菅谷議員へ辞職許可通知</p> <p>7日 議会運営委員会</p> <p>12日 第2回定例会（1日目）<br/>（補正予算、条例改正、その他）</p> <p>13日 総務文教常任委員会<br/>産業厚生常任委員会</p> <p>19日 北海道町村議会議長会定期総会・研修会<br/>～札幌市</p> <p>〔7月〕</p> <p>4日 北海道町村議会議長会主催議員研修会<br/>～札幌市</p> <p>6日～7日 総務文教常任委員会<br/>（所管事務調査）</p> <p>12日 第4回臨時会<br/>～中標津町、白糠町</p> <p>相馬市議会総務常任委員会<br/>行政視察来町</p> | <p>〔8月〕</p> <p>8日 第5回臨時会</p> <p>22日 町村議会広報研修会<br/>～札幌市</p> <p>25日 産業厚生常任委員会<br/>（所管事務調査）</p> <p>〔9月〕</p> <p>8日 議会運営委員会</p> <p>13日 第3回定例会（1日目）<br/>（補正予算、その他）</p> <p>19日 第3回定例会（2日目）<br/>（平成28年度決算審査）</p> <p>21日 第3回定例会（3日目）<br/>（一般質問ほか）</p> | <p>◎今後の予定</p> <p>13日～14日 産業厚生常任委員会<br/>（所管事務調査）<br/>～下川町、苫前町</p> <p>29日～31日 姉妹都市交流<br/>～福島県相馬市</p> |
|---|--|--|--|

※日程は変更になる場合があります。